
青葉のうた。～純の物語。～

ららら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青葉のうた。く純の物語。く

【Nコード】

N1542B

【作者名】

ららら

【あらすじ】

青葉のうた。の番外編。純と葉子のデアイ。

葉子と出会ったのは

俺がまだ幼い頃で

その時の心境もあったかも

しれないが

彼女はとても輝いて見えた

あの頃の俺はシャイで小心者でおまけに、近所のガキにいじめられていて、いつも一人だった。

ある日、俺はいじめられて木の下でメソメソ泣いたすると……

“ツンツン”

と誰かが俺の肩を後ろから叩いた。目に涙をためながら後ろを振り向くと

『どうしたのお〜』

と女の子が笑

顔で話し掛けてきた。

『べ、別に』

俺は、不機嫌そうに答えたすると、女の

子はどこかへ行ってしまった。

しばらくして、また、彼女が戻ってきたすると、両手いっぱいのおたんぽぽを満然の笑みで俺に渡して

『あげりゅ 私、最近、ここに、お引越ししにきたのお〜！お友達にならない？』

そして、彼女は続けた

『あなたのお名前は？』

『…山口…純』

『私の名前は、市山 葉子』

俺の初めての友達ができた。

それ以来、俺たちはずっと一緒にいた。毎日毎日一緒にいた。葉子と一緒に遊んでいるうちに、周りの奴らも俺たちの所によってきた。

『一緒に遊んでいい？』

『うん！いいよ！』

そして、俺が友達とケンカして泣いてたとき。

『純！！やられっぱなしで泣いてないで自分の言いたい事を素直に言いなよ』

と言ってくれた。そう、俺は逃げてばっかだったのだ負けるのが怖かっただけだった。だから、葉子に背中を押され、そして、ケンカした友達と仲直りできた。

そんな、こんなで小学校に入学しても俺たちは、いつも一緒にいた、友達もたくさんできた。

葉子が友達の作り方を教えてくれたから。

そして、中学生となった葉子は吹奏楽に入ってバリバリな部活っ子になった俺は、テニス部。

中学生は心春期で女の子の事が気になる時期でもあった

ある日、放課後の教室でちょうど部活が休みで、葉子の事を待っている時だった、『なあ〜純と市山ってどんな関係なん？』

『どんな、関係って？』

『だから、付き合ってたの？』

『そんなんじゃないよ！あいつは、ガキの頃からずう〜と一緒になんだよ』

『そ〜だとしてもさあ〜おまえ、市山以外の女と話さなくネ？？しかも、市山には優しいし』

『別に、普通だよ』

『ふ〜ん。』

《そうだ。アイツとは昔から、一緒にいるだけで…》

“ガラ”

ドアが開いた。

『純！帰ろう！』

“ドキ”

《何、意識してんだよ》

『おう。』

それ以来。俺は、葉子の事を意識しだした。

そして、ある日の放課後廊下を歩いていたら

『好きです！市山さん』

《え？！》

ドキ、ドキ、

俺は、不安になりながら葉子が告白されるシーンを盗み見していた…

『ごめん！私、部活がいま一番だから…』

その言葉を聞いて、俺は安心した、そして、直後にまた、ガツクリときた。

《どうせなら、『純が一番だから』っていつてほしいな》

そんな、気持ちが出てきた。そう。俺は葉子の事、好きだったそれをきつと自覚したのは、その時だろう。

でも、俺は気持ちをいかなかった。この関係を壊したくなかったし、葉子とは、いつも一緒にいたかったから。葉子の一番にはなれないと思ったから。

もうすぐ、高校の入学式、高校の部活は、中学より激しいと聞いていた。葉子という時間が短くなる気がしたでも、平気だ。

彼女と俺の絆は深いから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1542b/>

青葉のうた。～純の物語。～

2011年1月16日09時56分発行